



## 下水汚泥の更なる活用に向けた効果検証試験で 南安曇農業高等学校が稲刈りを実施します

下水の処理過程で発生する汚泥の肥料化を目指す取組として、試験水田に下水汚泥※を散布し、南安曇農業高等学校と協働で稲の生育試験等の効果検証試験を進めています。

5月に田植えをした試験水田の稲が収穫時期を迎えましたので、生徒による稲刈りを行います。

### 稲刈り

試験水田の稲について、南安曇農業高等学校の生徒が以下の日程で稲刈り及び脱穀を行います。

#### (1) 日時

令和5年9月21日(木) 午後1時から(2時間程度) ※少雨決行

#### (2) 場所

南安曇農業高等学校第2農場(安曇野市堀金烏川1773番地1) 7号水田一部区画(別紙参照)

#### (3) 内容

高校生が汚泥使用区、化学肥料使用区、肥料無使用区で稲刈りを行い、それぞれの草丈、収穫量等を比較します。

#### (4) その他

取材を希望される方は9月20日(水)午後5時までに下記担当者へお申し込みください。  
また、当日は現場係員の指示に従い、指定場所への駐車をお願いします(別紙参照)。

### (参考) 効果検証試験

#### (1) 内容

稲の生育試験、土壌中の肥料成分調査、土壌への重金属成分の蓄積状況確認  
下水汚泥の成分分析及び植物に対する害に関する栽培試験

#### (2) 今年度の日程

- ・4月 下水汚泥の散布及びすき込み
- ・5月 田植え(県独自品種「風さやか」)
- ・9月 稲刈り
- ・2月 試験結果まとめ

#### ※下水汚泥とは

… 下水を処理する過程で生じる汚泥。

現在、当処理場で発生する汚泥はセメント原料として資源化している。

植物の成長を促す窒素やリンなどの成分も含まれていることから、昨今の世界情勢による肥料価格の高騰を受け、農業用資材としての活用が期待されている。



くらしふと信州

くらしの足元、ふと見つめ直す。  
そこからはじまる暮らしの  
ゼロカーボンシフト「くらしふと」



WEBサイトはこちら

#### (問合せ先)

担当 犀川安曇野流域下水道事務所  
八町、高橋

電話 0263-73-6571(直通)

ファクシミリ 0263-73-6572

電子メール azuminoryuiki@pref.nagano.lg.jp

# 試験実施場所 位置図

